

# クラウド配信サービス 設定マニュアル

※ 設定作業は、Windows10・Windows8.1のパソコンで作業してください

 ステップ① ユーザー情報の作成
 P.2

 ステップ② 教材ライセンスの割り当て P.10

 ステップ③ ユーザー情報カードの印刷(任意)
 P.16

#### ライセンス証明書を ご用意ください。

スタート	デジタル教科書・教材を使用する	P.20
	Googleアカウントでログインする	P.22
	Microsoftアカウントでログインする	P.26
	アクセス制限の解除について	P.35
	機能一覧	P.37
	設定操作のご注意事項	P.65

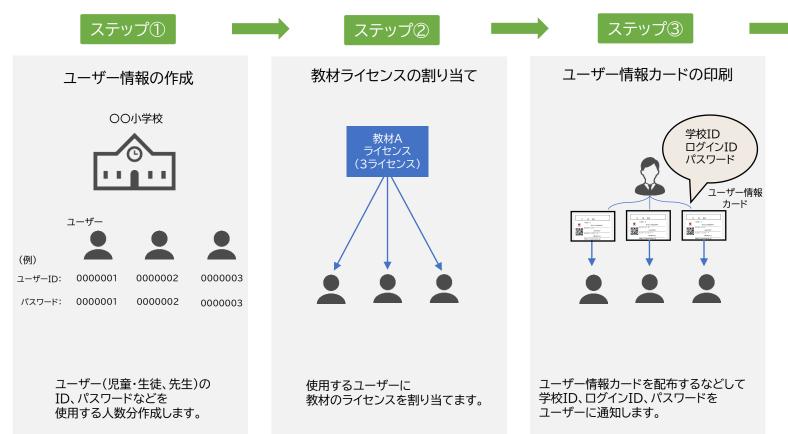




# 設定作業の流れ

「まなビューアクラウド配信サービス」は、以下の設定を行って、ご使用ください。

(例)○○小学校で、教材Aを3ライセンス使用する場合



デジタル教科書・教材の使用 ログイン画面で、 学校ID、ログインID、パスワード を入力して使用します。

スタート

# ステップ①

# ユーザー情報の作成

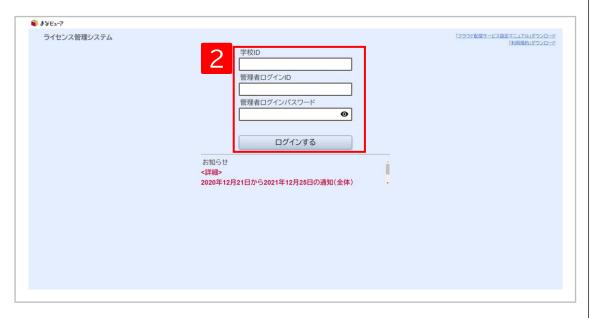
ここでは、デジタル教科書・教材を使用するユーザー(児童・生徒、先生)の情報を作成・登録します。

1. ログイン	P.3
2.ユーザー登録用CSVのひな形をダウンロード	P.4
3.ユーザー登録用CSVの編集	P.5
4.ユーザー登録用CSVのアップロード	P.6

## ステップ① ユーザー情報の作成

### 1. ログイン





1 ライセンス証明書に記載の管理者アクセスURLにアクセスする。



管理者アクセスURL

2 ライセンス証明書に記載の学校ID、管理者ログインID、 管理者ログインパスワードを入力し、 「ログインする」をクリックする。



学校ID、管理者ログインID、 管理者ログインパスワード

# ステップ① ユーザー情報の作成

### 2. ユーザー登録用CSVのひな形をダウンロード



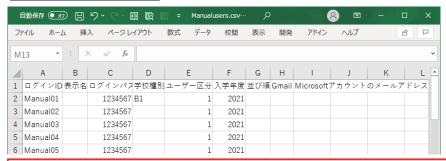
学校管理者メニュー画面で、「①ユーザー情報の作成、変更、削除」をクリックする。



2 「ひな型CSVをダウンロード」をクリックして ダウンロードする。

#### 3. ユーザー登録用CSVの編集

CSVファイル(完成後のイメージ)



CSVファイルの上限は1ファイルにつき1500ユーザーです。

[設定値のルール] 文字コード:SJIS

- 1 CSVファイルをExcelまたはメモ帳等で開く。 ※Excelで開いた場合、頭のOが欠落する場合があり ますのでご注意ください。
- 2 デジタル教科書・教材を使用するユーザー(児童・生徒、 先生)の情報を[設定値のルール]を参考に、 CSV形式で記載して保存してください。
  - ※ここに記載していないユーザーは、使用できません。 ※1行目はヘッダー情報です。(編集、削除しないでくだ さい。)2行目から記載してください。

項目	必須/任意	文字数	備考
ログインID	必須	7~64	ユーザー <mark>情報登録後の変更はできません。</mark> 半角英字、数字、記号を使用できます。(英数字、記号を組み合わせることは必須ではありません。)
表示名	任意	~64	デジタル教科書・教材の使用時に画面に表示されます。 氏名等、個人を特定できる情報は入力しないでください。
ログインパスワード	必須	7~64	半角英字、数字、記号を使用できます。(英数字、記号を組み合わせることは必須ではありません。)
学校種別	必須	2	右記[]内のいずれかを設定してください。[B1:小学校, C1:中学校, D1:高等学校, 99:その他]
ユーザー区分	必須	1	右記[]内のいずれかを設定してください。[1:児童・生徒,2:先生]
入学年度西暦	必須※	4	※ユーザーが児童・生徒の場合は <mark>必須</mark> となります。 先生も担任する児童・生徒と同じ入学年度で登録すると、教材ライセンスの割り当てを簡便に行えます。 ※数字のみ記載してください。(2021年度の場合は2021と記載してください。)
並び順	任意	~9	設定した数値の若い順に昇順となります。
Gmailアドレス	任意	~254	「Googleアカウントでログイン」を使用する場合に設定してください。
Microsoftアカウントのメールアドレス	任意	~254	「Microsoftアカウントでログイン」を使用する場合に設定してください。 ※Azure Active Directoryでのユーザーの作成方式により、設定する値が異なります。 詳細についてはP.31をご参照ください。 ※「Microsoftアカウントでログイン」を使用するには、Azure Active Directoryでの事前準備(P.28)を 行っている必要があります。

※空行を入れるとCSVの登録ができないので、空行を入れないようお願い致します。 特にメモ帳等で開いた場合、最後の行で改行をすると空行が生成されてしまいますので、ご注意ください。 ※このCSVで登録した情報は、ログインの管理、ログインIDにひもづいた成果物(書き込み等)の管理に使用します。

※ライセンス証明書に記載されている「管理者ログインID」「管理者ログインパスワード」は登録しないよう、ご注意ください。

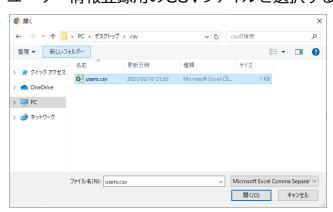
### ステップ① ユーザー情報の作成

### 4. ユーザー登録用CSVのアップロード①





1 「CSV一括登録」をクリックし、 表示されたダイアログから ユーザー情報登録用のCSVファイルを選択する。



2 ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックする。

注意

既にユーザーが登録されている場合、CSVに含まれていないユーザーは削除されますのでご注意ください。

### ステップ① ユーザー情報の作成

### 4. ユーザー登録用CSVのアップロード②



3 「CSV一括登録しています。 ユーザー数が多い場合やネットワーク負荷が高い場合 は数分かかる場合があります。」 が表示されるので、しばらくお待ちください。



- 4 「ユーザー情報一括登録が正常に終了しました。」 が表示されたらステップ①は完了です。
- 5 「デジタル教科書・教材ライセンスを割り当てる」 をクリックしてステップ②へ進んでください。

# 4. ユーザー登録用CSVのアップロード③-1 エラーメッセージが表示された場合の対処方法

No	エラーメッセージ	対処方法
1	CSVファイルの取込みに失敗しました。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所の値を「ユーザー登録用CSVファイルの編集」(P.5)を参考に正しい値に修正してください。
2	重複しているログインIDがありました。 X行目 1列目	CSVファイルを開き、表示されている行のログインIDをそれより前のログインIDと重複しない値に変更してください。 ※大文字小文字違いのログインIDも登録できません。
3	空行が含まれています。 X行目	CSVファイルを開き、空行を削除してください。
4	1行目の見出し行の情報が不正です。	もう一度ひな型CSVファイルをダウンロードしてください。 ダウンロードしたひな型CSVファイルの1行目を、エラーが発生したCSVファイルの1行目に上書きしてください。
5	CSVファイルを選択してください。	CSV形式以外のファイル(PDFファイル等)が選択された際に表示されるエラーとなります。 もう一度編集したCSVファイルを選択し、アップロードしてください。
6	登録するユーザーが存在しません。	CSVファイルを開き、登録するユーザーを1人以上記載してください。
7	他のユーザーが操作中のため ユーザー情報の一括登録・削除は行えません。	学校内でCSV一括登録やユーザーの削除を同時に実施した場合に表示されるエラーとなります。 他の管理者がCSV一括登録やユーザーの削除を実施していないことを確認し、再度行ってください。
8	管理者ログインIDと同一のユーザーIDは 登録できません。 X行目 1列目	CSVファイルを開き、表示されている行のログインIDを管理者ログインIDと重複しない値に変更してください。 ※管理者ログインIDと大文字小文字違いのログインIDも登録できません。
9	重複しているGmailアドレスがありました。 X行目 8列目	表示されている行のGmailアドレスが、それより前のGmailアドレスと重複しています。 CSVファイルを開き、正しい値に修正してください。
10	項目数が不正です。1行目のヘッダと項目を合わせて ください。 X行目	CSVファイルを開き、表示されている行の項目数を1行目のヘッダに合わせてください。
11	必須項目を入力してください。 X行目 Y列目	必須項目が未入力です。 CSVファイルを開き、該当箇所の値を記載してください。
12	〇~〇文字で入力してください。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所の文字数が〇~〇文字になるように変更してください。
13	〇文字で入力してください。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所の文字数が〇文字になるように変更してください。
14	最大文字数を超えています。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所の文字数を、「ユーザー登録用CSVファイルの編集」(P.5)を参考に正しい文字数に修正してください。
15	半角英字、数字、記号で入力してください。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所の値を半角英字、数字、記号に修正してください。
16	B1:小学校, C1:中学校, D1:高等学校, 99:その他 のいずれかを入力してください。 X行目 4列目	CSVファイルを開き、該当箇所の学校種別をB1、C1、D1、99のいずれかに修正してください。

# ステップ① ユーザー情報の作成

# 4. ユーザー登録用CSVのアップロード③-2 エラーメッセージが表示された場合の対処方法

No	エラーメッセージ	対処方法
17	1:児童・生徒,2:先生 のいずれかを入力してください。 X行目 5列目	CSVファイルを開き、該当箇所のユーザー区分を1、2のいずれかに修正してください。
18	半角数字で入力してください。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所の値を半角数字に修正してください。
19	メールアドレスの形式が正しくありません。 X行目 8列目	CSVファイルを開き、該当箇所のGmailアドレスを修正してください。
20	重複しているMicrosoftのメールアドレスがありました。 X行目 9列目	表示されている行のMicrosoftのメールアドレスが、それより前のMicrosoftのメールアドレスと重複しています。 CSVファイルを開き、正しい値に修正してください。
21	項目に改行が含まれています。項目に改行を含めないよう修正してください。 X行目 Y列目	CSVファイルを開き、該当箇所を改行を含めないよう修正してください。

# ステップ②

# 教材ライセンスの割り当て

ここでは、作成したユーザーに、使用するデジタル教科書・教材のライセンスを割り当てます。

1. 教材ライセンスの一括割り当て

P.11

### 1. 教材ライセンスの一括割り当て①



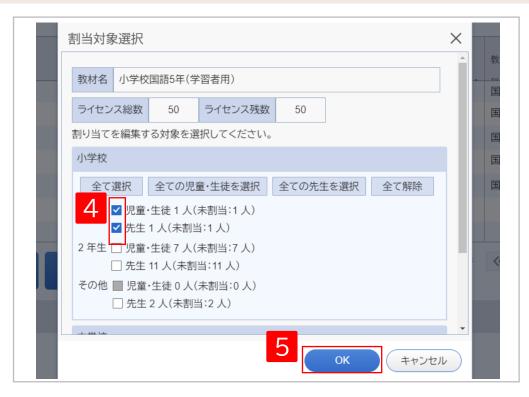
- 学校管理者メニュー画面で、 「②デジタル教材のライセンス割り当て」をクリックする。
  - ※ステップ①から引き続いて行う場合は、 この画面は表示されません。



2 割り当てる教材を選択する。

3 「一括で割当を編集する」をクリックする。

### 1. 教材ライセンスの一括割り当て②



4 表示されるダイアログ画面で、 割り当てるユーザーを選択する。

5 「OK」をクリックする。

ユーザー数がライセンス数と同じまたは少ない時 ⇒P.13にお進みください。

ユーザー数がライセンス数より多い時 ⇒P.14にお進みください。

### 1. 教材ライセンスの一括割り当て③-1

#### ユーザー数がライセンス数と同じまたは少ない時



「デジタル教科書・教材ライセンスの割り当てを確定します。 よろしいですか?」と表示されるので、 「OK」をクリックする。

7 「デジタル教科書・教材ライセンスの割当を確定しました。」 と表示されるので、「OK」をクリックすると、 ステップ②は完了です。

### 1. 教材ライセンスの一括割り当て③-2-1

#### ユーザー数がライセンス数より多い時





6 「ライセンス数が足りません。 ユーザーごとに割当を編集しますか?」 と表示されるので、「OK」をクリックする。

7 ライセンスを割り当てたいユーザーを 検索条件に設定し、「検索する」をクリックする。

### 1. 教材ライセンスの一括割り当て③-2-2





8 ライセンスを割り当てるユーザーを選択する。

「割当を確定する」をクリックする。

10 「OK」をクリックするとステップ②は完了です。

# ステップ③

# ユーザー情報カードの印刷

ここでは、ステップ①で作成したユーザーのログインID、パスワードを印刷します。(任意)

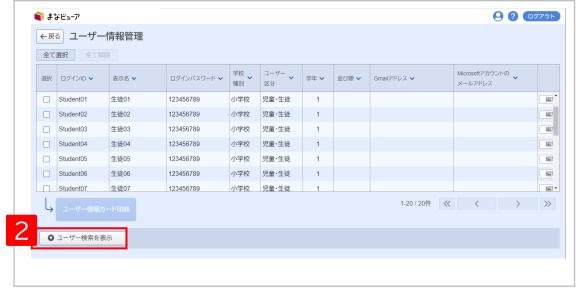
1. ユーザー情報カードのダウンロード	P.17
2.ユーザー情報カードの印刷と裁断	P.10

#### 1. ユーザー情報カードのダウンロード①

ユーザー情報カードの印刷は必ずしも行う必要はなく、学校所定の用紙など、別の方法でユーザー情報を 伝えても問題ありません。必要に応じてご使用ください。



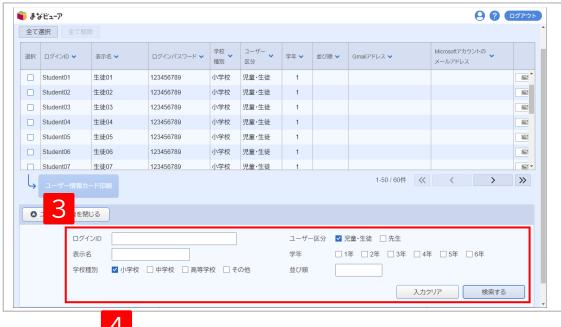
1 「③ユーザー情報カードの印刷」をクリックする。



2 「ユーザー検索を表示」をクリックする。

## ステップ③ ユーザー情報カードの印刷

### 1. ユーザー情報カードのダウンロード②





- 3 印刷したいユーザーの情報を検索条件に設定し、 「検索する」をクリックする。
- 4 並べ替えたい項目の ▼ をクリックする。
  - ※ユーザー情報カードは画面に表示されている ユーザーの順に印刷されます。
  - ※例えば、ログインIDで並べ替えて印刷するには、 ログインID列右の ✓ をクリックしてください。
- 5 ユーザー情報カードを印刷するユーザーを選択する。
- 「ユーザー情報カード印刷」をクリックすると UserLicenseCards.pdfが生成される。

### 2. ユーザー情報カードの印刷と裁断



- 1 UserLicenseCards.pdfを印刷する。
- 2 点線(-・-・-・)に沿って裁断し、 児童・生徒、先生に配布する。



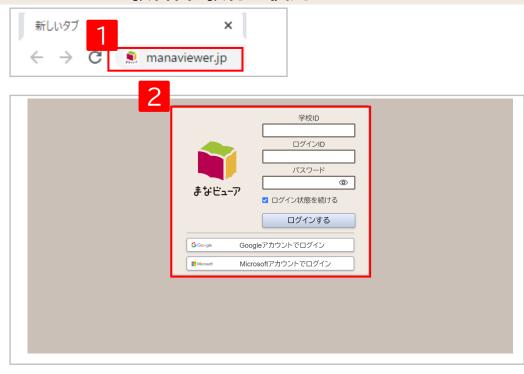
※QRコードを使用して、デジタル教科書・教材を使用するためのログイン画面にアクセスすることができます。

# スタート

# デジタル教科書・教材を使用する

1. デジタル教科書・教材の使用 P.21

### 1. デジタル教科書・教材の使用





- 1 manaviewer.jpにアクセスする。
- 2 学校ID、ログインID、パスワードを入力し、 「ログインする」をクリックする。
  - ※Googleアカウントでログインする場合は、「Googleアカウントでログイン」をクリックしてください。 詳細については、P.22をご参照ください。
  - ※Microsoftアカウントでログインする場合は、 「Microsoftアカウントでログイン」をクリックしてください。 詳細については、P.26をご参照ください。



- 3 ライセンスを割り当てた教材が表示されます。 書影をクリックするとデジタル教科書・教材を 使用できます。
  - ※ご使用の端末の時刻が1時間以上ずれている場合、 デジタル教科書・教材を使用して「おわる」を押した時に、 「通信エラー「ネットワークに正しく接続されておりません。 このまま終わると書き込みなどが保存されない場合が あります。」」 のアラートが表示されることがあります。

端末の時刻は正しい時刻に設定してご使用ください。

21

# Googleアカウントでログインする

■ユーザー情報の登録からGoogleアカウントでログインするまでの流れ	P.23
1. Googleアカウントでログインする	P.24
2.Googleアカウントでログインした後に、ログアウトする	P.25



# ユーザー情報の登録からGoogleアカウントでログインするまでの流れ

ユーザー情報にGmailアドレスを登録すると、児童・生徒、先生のログインIDと Gmailアドレスが紐づけられ、Googleアカウントでログインが可能になります。





### Googleアカウントでログインする

#### 1. Googleアカウントでログインする

ブラウザにGoogleアカウントでログインしている場合は、Googleアカウントとパスワードを入力する画面が省略されます。

<ブラウザにGoogleアカウントでログインしている場合>



①「Googleアカウントで ログイン」をクリックする。



②本棚画面が表示されます。

#### <ブラウザにGoogleアカウントでログインしていない場合>



- ①「Googleアカウントで ログイン」をクリックする。
- ②ユーザー情報に設定した Gmailアドレスを入力し、 「次へ」をクリックする。
- ③Googleアカウントの パスワードを入力し、 「次へ」をクリックする。
- ④本棚画面が表示されます。

※「Googleアカウントでログイン」を使用できるのは、

Chromebook...Google Chrome

Windows端末…Google Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorer11

iPad … … …Safariとなります。

※ Windows版まなビューア専用ブラウザ、iPad版まなビューア専用ブラウザではご使用になれませんので、ご注意ください。

# Googleアカウントでログインする

## 2. Googleアカウントでログインした後に、ログアウトする





2 ログイン画面が表示されます。

■ユーザー情報の登録からMicrosoftアカウントでログインするまでの流れ	P.27
0. Azure Active Directoryでの事前準備	P.28
1. Microsoftアカウントでログインする	P.33
2. Microsoftアカウントでログインした後に、ログアウトする	P.34



# ユーザー情報の登録からMicrosoftアカウントでログインするまでの流れ

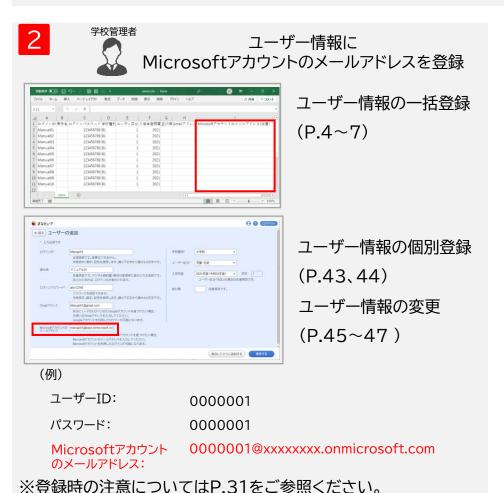
ユーザー情報にMicrosoftアカウントのメールアドレスを登録すると、児童・生徒、先生のログインIDとMicrosoftアカウントが 紐づけられ、Microsoftアカウントでログインが可能になります。

1

AzureADの管理者 または 学校管理者



Azure Active Directoryでの事前準備(P.28)

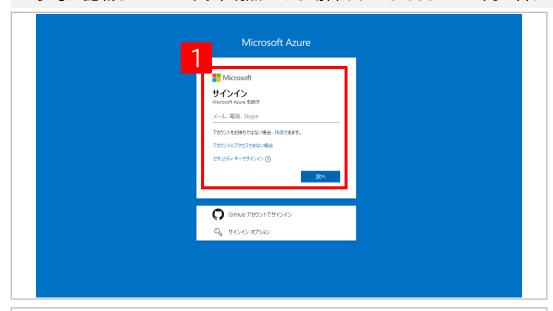




※「Microsoftアカウントでログイン」は、OpenID Connect方式を採用しています。

### 0. Azure Active Directoryでの事前準備

https://docs.microsoft.com/en-us/azure/active-directory/develop/quickstart-register-appを参考に記載しております。不明点がある場合は、Microsoftへお問い合わせください。



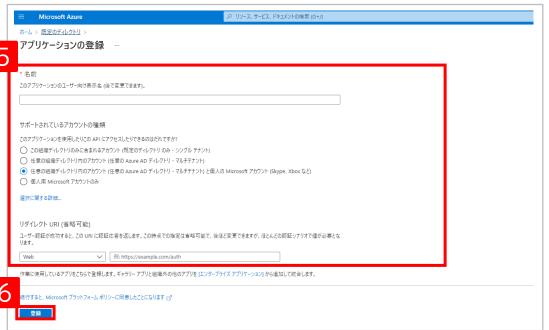


1 Microsoft Azure ポータルにサインインする。

2 ホーム・ページで、画面上部にある 「Azure Active Directory」をクリックする。

### O. Azure Active Directoryでの事前準備





- 3 左側のナビゲーション・ペインで、 「アプリの登録」をクリックする。
- 4 「新規登録」をクリックする。

5 以下を設定値を入力する。

要素	設定値
名前	※任意で設定して下さい
サポートされ ているアカウ ントの種類	任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)
リダイレクト URI	https://manaviewer.jp/BeforeMicrosoftLogin

6 「登録」をクリックする。

### O. Azure Active Directoryでの事前準備





7 登録されたアプリをクリックする。 ※5で設定した名前をクリックする。

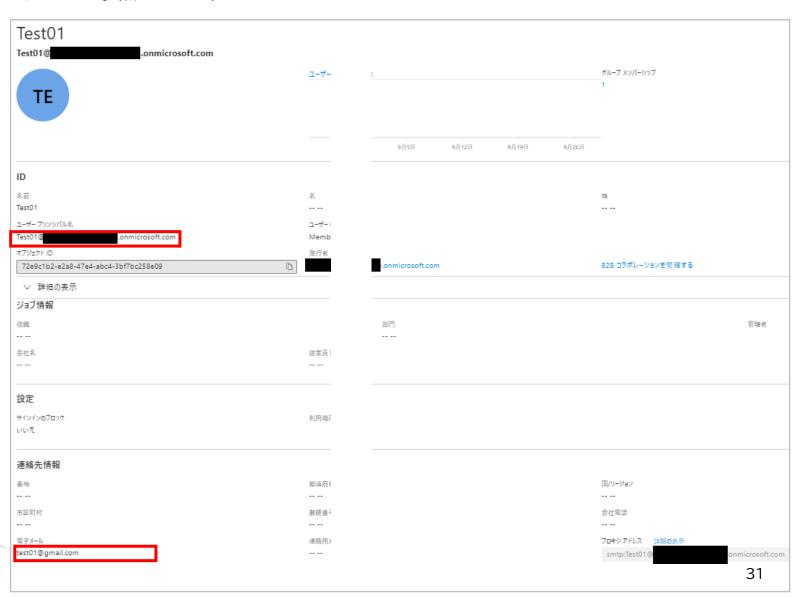
- 8 「トークン構成」をクリックする。
- 9 「オプションの要求の追加」をクリックする。
- 10 トークンの種類でIDを選択する。
- preferred usernameにチェックを入れる。 ※「ユーザーの招待」で作成したユーザーで、ログインする 場合は、emailにもチェックを入れてください。
- 12 「追加」をクリックする。

## 0. Azure Active Directoryでの事前準備 ユーザー情報に「Microsoftアカウントのメールアドレス」を設定する際の注意点

ユーザー作成方式によって、ユーザー情報の「Microsoftアカウントのメールアドレス」に設定する値が異なります。 ユーザー作成方式については、P.32を参照ください。

「ユーザーの作成」の場合は、 ユーザープリンシパル名を Microsoftのメールアドレスに 設定して下さい。

「ユーザーの招待」の場合は、 <mark>電子メール</mark>を Microsoftのメールアドレスに 設定して下さい。



### O. Azure Active Directoryでの事前準備

#### 【ユーザー作成方式の見分け方】

ユーザー一覧の作成の種類欄が空欄であれば「ユーザーの作成」、招待であれば「ユーザーの招待」で作成されています。



#### 【アクセス許可】

初めて「Microsoftアカウントでログイン」する場合は、Microsoftのアクセス許可画面が表示されます。 アクセス許可画面を表示させたくない場合は、AzureAD管理者により一律でアクセス許可を付与する必要があります。

#### 1. Microsoftアカウントでログインする

ブラウザにMicrosoftアカウントでログインしている場合は、Microsoftアカウントとパスワードを入力する画面が省略されます。

<ブラウザにMicrosoftアカウントでログインしている場合>



①「Microsoftアカウントで ログイン」をクリックする。

②本棚画面が表示されます。

#### <ブラウザにMicrosoftアカウントでログインしていない場合>



①「Microsoftアカウントで ログイン」をクリックする。 ②ユーザー情報に設定した Microsoftアカウントの メールアドレスを入力し、 「次へ」をクリックする。

③Microsoftアカウントの パスワードを入力し、 「次へ」をクリックする。

④「ユーザーの作成」で作 成されたユーザーの場合 「承諾」をクリックする。 (初回のみ表示されます。) ④「ユーザーの招待」で作 成されたユーザーの場合 「はい」をクリックする。 (初回のみ表示されます。)

M2 このアプリがあなたの情報に アクセスすることを許可しま

Microsoft

manaviewer-a 求めています:

基本プロフィールを表示 manaviewer-azure-apct2 は、あなたの基本に ロフィール (名前、写真、ユーザー名) を参照でき ます。

メール アドレスを表示

⑤本棚画面が表示されます。

※「Microsoftアカウントでログイン」を使用できるのは、

Chromebook...Google Chrome

Windows端末…Google Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorer11

iPad … … …Safariとなります。

※ Windows版まなビューア専用ブラウザ、iPad版まなビューア専用ブラウザではご使用になれませんので、ご注意ください。

## 2. Microsoftアカウントでログインした後に、ログアウトする





2 ログイン画面が表示されます。

# アクセス制限の解除について

1. ホワイトリスト(ダイレクト接続先)とHTTPSデコード除外の設定

P.36

#### 1.ホワイトリスト(ダイレクト接続先)とHTTPSデコード除外の設定

クラウド配信サービスを利用するにあたり、自治体・学校などでアクセス制限を行っている場合は、 以下の内容でホワイトリスト(ダイレクト接続先)の設定、HTTPSデコード除外の設定をお願いします。

#### <ホワイトリスト(ダイレクト接続先)の設定>

No.	設定値
1	manaviewer.jp/ (HTTPS)
2	manaviewer-prd.servicebus.windows.net/ (WebSocket)
3	manaviewer-prd-2.servicebus.windows.net/ (WebSocket)
4	manaviewer-prd-3.servicebus.windows.net/ (WebSocket)
5	manaviewer-prd-4.servicebus.windows.net/ (WebSocket)
6	manaviewer-prd-5.servicebus.windows.net/ (WebSocket)

#### <HTTPSデコード除外の設定>

No.	設定値
1	manaviewer.jp
2	manaviewer-prd.servicebus.windows.net
3	manaviewer-prd-2.servicebus.windows.net
4	manaviewer-prd-3.servicebus.windows.net
5	manaviewer-prd-4.servicebus.windows.net
6	manaviewer-prd-5.servicebus.windows.net

# 機能一覧

0	事前準備	P.38	4 その他	P.61
	1. 動作環境(管理者の設定用端末)	P.39	1. 学校管理者アカウントのパスワードの変更	P.62
	2. ログイン	P.40	2. ログアウト	P.64
1	ユーザー情報の作成、変更、削除	P.41		5 (5
	1. ユーザー情報の一括登録	P.42	5 設定操作のご注意事項	P.65
	2. ユーザー情報の個別登録	P.43	1. ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。	P.66
	3. ユーザー情報の変更	P.45	2. ユーザー情報管理画面で、	P.67
	4. ユーザー情報の削除	P.48	ログインパスワードなどを全文字表示するには。	
	5. ユーザーの成果物(書き込み等)の削除	P.50	3. ライセンス証明書に記載されている「管理者	P.68
			ログインID」はユーザーに登録できません。	
			4. 登録済みのユーザーの「ログインID」と大文字小文字	P.69
2	教材のライセンス割り当て	P.52	違いのユーザーは登録できません。	
		1.52	5. ユーザー区分を「先生」から「児童・生徒」に変更すると、	P.70
	1. 教材ライセンスの一括割り当て	P.53	教材ライセンスの割当が全て解除されます。	
	2. 教材ライセンスの個別割り当て	P.54	6. ライセンス管理システムを同一の管理者ログインIDで	P.71
	3. ユーザーを選んで教材ライセンスを割り当て	P.57	複数人でご利用の場合、一人がログアウトするとそれ	
			以外の方も、何か操作をするとログアウトされます。	
3	ユーザー情報カードの印刷	P.60	7. Web Application Firewallでブロックされる文	P.72
<u>J</u>	ユーソー1月刊771―1207177717771	F.00	字を含むユーザーは登録できません。	37
				5,

# ● 事前準備

1. 動作環境P.392. ログインP.40

# 0 事前準備

## 1. 動作環境(管理者の設定用端末)

# Windows

OS	Microsoft Windows10、8.1
メモリ	推奨のブラウザが動作すること
ディスプレイ	1,366 × 768 ピクセル以上
ブラウザ	·Microsoft Edge(chromium版) ·Internet Explorer 11 ·Google Chrome

## 0 事前準備

#### 2. ログイン





1 ライセンス証明書に記載の管理者アクセスURLにアクセスする。



管理者アクセスURL

2 ライセンス証明書に記載の学校ID、管理者ログインID、 管理者ログインパスワードを入力し、 「ログインする」をクリックする。



学校ID、管理者ログインID、 管理者ログインパスワード

1. ユーザー情報の一括登録	P.42
2.ユーザー情報の個別登録	P.43
3.ユーザー情報の変更	P.45
4.ユーザー情報の削除	P.48
5.ユーザーの成果物(書き込み等)の削除	P.50

1. ユーザー情報の一括登録

このマニュアルのP.4~9を 参照してください。

#### 2. ユーザー情報の個別登録①



1 学校管理者メニュー画面で、 「①ユーザー情報の作成、変更、削除」をクリックする。



2 「1件ずつ登録」をクリックする。

#### 2. ユーザー情報の個別登録②



※ここで登録した情報は、ログインの管理、ログインIDにひもづいた成果物(書き込み等)の管理に使用します。

3 各項目に登録するユーザーの情報を設定する。

4 「保存する」をクリックすると ユーザー情報の個別登録は完了です。

#### 3. ユーザー情報の変更①



1 「①ユーザー情報の作成、変更、削除」をクリックする。



2 「ユーザー検索を表示」をクリックする。

#### 3. ユーザー情報の変更②





3 削除したいユーザーの検索条件を設定し、 「検索する」をクリックする。

4 「編集」をクリックする。

#### 3. ユーザー情報の変更③



5 変更する項目を編集する。

6 「保存する」をクリックすると、 ユーザー情報の変更は完了です。

#### 4. ユーザー情報の削除①



1 「①ユーザー情報の作成、変更、削除」をクリックする。



2 「ユーザー検索を表示」をクリックする。

#### 4. ユーザー情報の削除②





3 削除したいユーザーの検索条件を設定し、 「検索する」をクリックする。

- 4 削除するユーザーを選択する。
- 「選択して削除」をクリックする。 画面に従って「OK」をクリックすることで、 ユーザー情報の削除は完了です。
  - 注意 ユーザーの成果物(書き込み等)も削除されます。

#### 5. ユーザーの成果物(書き込み等)の削除①

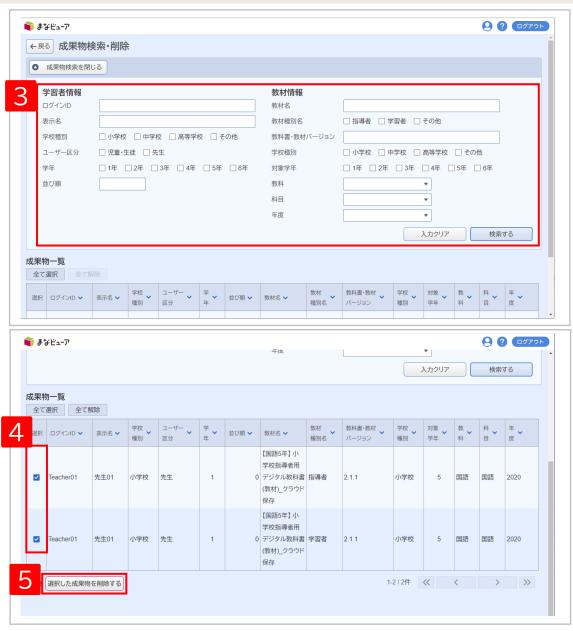


1 「①ユーザー情報の作成、変更、削除」をクリックする。



2 「ユーザーの成果物を削除する」をクリックする。

#### 5. ユーザーの成果物(書き込み等)の削除②



3 成果物を削除したいユーザーの検索条件を設定し、 「検索する」をクリックする。

4 成果物を削除するユーザーを選択する。

5 「選択した成果物を削除する」をクリックする。 画面に従って「OK」をクリックすると、 成果物(書き込み等)の削除は完了です。

1.教材ライセンスの一括割り当て	P.53
2.教材ライセンスの個別割り当て	P.54
3.ユーザーを選んで教材ライセンスを割り当て	P.57

1. 教材ライセンスの一括割り当て

このマニュアルのP.11~15を 参照してください。

#### 2. 教材ライセンスの個別割り当て①

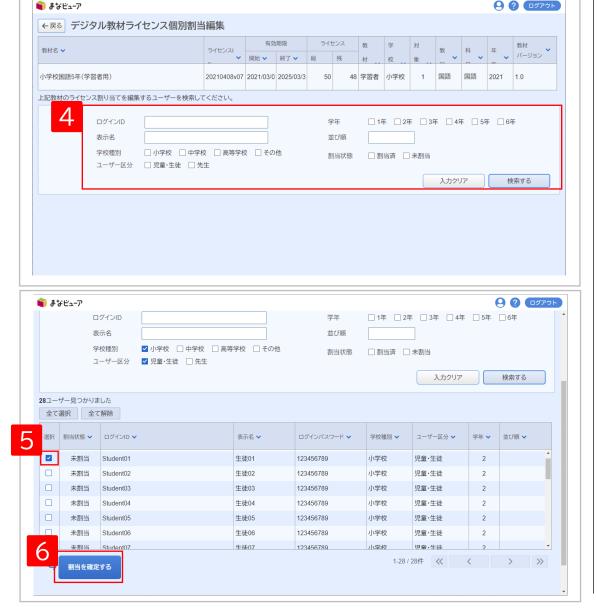


1 「②デジタル教材のライセンス割り当て」を クリックする。



- 2 割り当てるデジタル教科書・教材ライセンスを 選択する。
- 3 「ユーザーごとに割当を編集する」をクリックする。

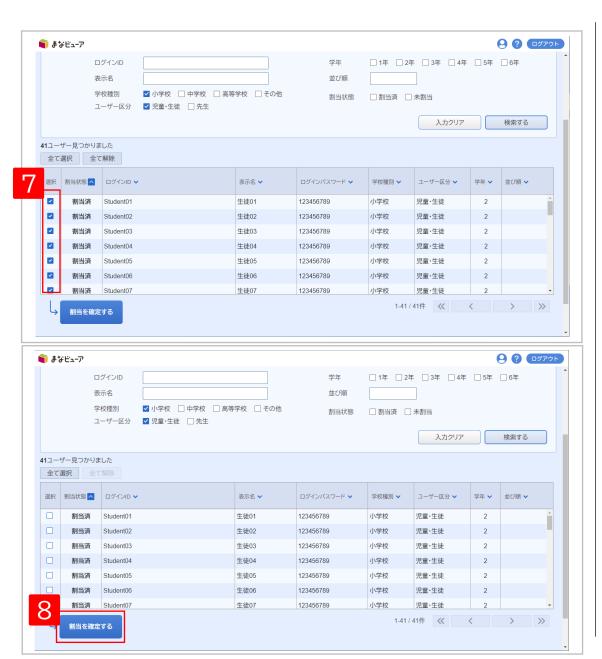
#### 2. 教材ライセンスの個別割り当て②



4 検索条件を設定し、「検索する」をクリックする。

- 5 割当状態が未割当のユーザーを選択する。
  - ※割当状態が割当済のユーザーの選択を外した場合は、 ライセンスの割当が解除されます。(P.56参照)
- 「割当を確定する」をクリックする。その後、画面に従って「OK」をクリックすると、ライセンスの割り当ては完了です。

#### 2. 教材ライセンスの個別割り当て③



7 割当状態が割当済のユーザーの選択を外す。

「割当を確定する」をクリックする。 その後、画面に従って「OK」をクリックすると、 ライセンスの割当解除は完了です。

#### 3. ユーザーを選んで教材ライセンスを割り当て①



1 「①ユーザー情報の作成、変更、削除」をクリックする。



2 「編集」をクリックする。

育 まなビューア

#### 3. ユーザーを選んで教材ライセンスを割り当て②

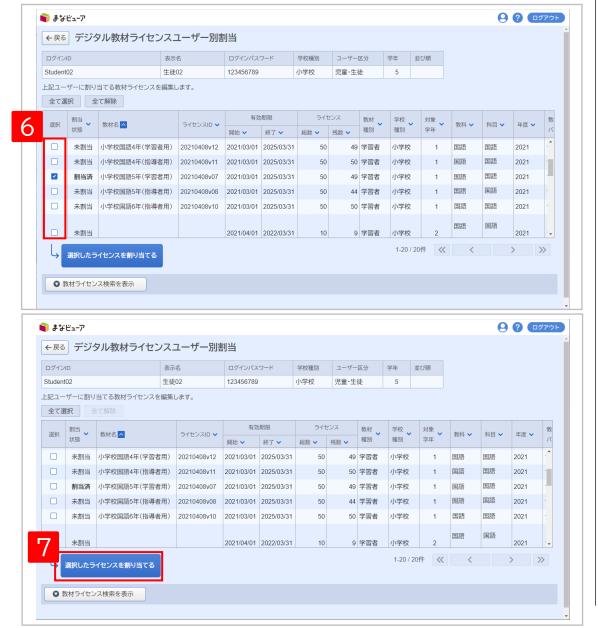
♀ ? ログアウト



3 「保存してライセンス割当」をクリックする。

- 4 割当状態が未割当の教材を選択する。
  - ※割当状態が割当済のライセンスの選択を外した場合は、 ライセンスの割当が解除されます。(P.59参照)
- 5 「選択したライセンスを割り当てる」をクリックする。 画面に従って「OK」をクリックすると、 ライセンスの割り当ては完了です。

#### 3. ユーザーを選んで教材ライセンスを割り当て③



8 割当状態が割当済の教材ライセンスの選択を外す。

「選択したライセンスを割り当てる」をクリックする。 画面に従って「OK」をクリックすると、 ライセンスの割当解除は完了です。

# 3 ユーザー情報カードの印刷

このマニュアルのP.17~19を 参照してください。

1.学校管理者アカウントのパスワードの変更	P.62
2.ログアウト	P.64

#### 1. 学校管理者アカウントのパスワードの変更①



1 アカウントアイコン ❷ をクリックする。



2 「管理者ログインパスワードを変更」をクリックする。

#### 1. 学校管理者アカウントのパスワードの変更②



3 「現在の管理者ログインパスワード」 「新しい管理者ログインパスワード」、 「新しい管理者ログインパスワードの確認」を入力し、 「変更を保存する」をクリックする。

> 画面に従って「OK」をクリックすると、 管理者アカウントのパスワードの変更は完了です。

### 2. ログアウト



1

「ログアウト」をクリックする。

1.フラワサの「戻る」ボタンは使用しないでください。	P.66
2.ユーザー情報管理画面で、ログインパスワードなどを全文字表示するには。	P.67
3.ライセンス証明書に記載されている「管理者ログインID」はユーザーに	P.68
登録できません。	
4.登録済みのユーザーの「ログインID」と大文字小文字違いのユーザーは	P.69
登録できません。	
5. ユーザー区分を「先生」から「児童・生徒」に変更すると、	P.70
教材ライセンスの割当が全て解除されます。	
6. ライセンス管理システムを同一の管理者ログインIDで複数人でご利用の場合、	P.71
一人がログアウトするとそれ以外の方も、何か操作をするとログアウトされます。	
7.Web Application Firewallでブロックされる文字を含むユーザーは	P.72
登録できません。	

#### 1. ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

前の画面に戻る場合は、ブラウザの「戻る」ボタンではなく、画面内の ←戻る ボタンを使用してください。



#### 2. ユーザー情報管理画面で、ログインパスワードなどを全文字表示するには。

ログインパスワードなどの文字が全文字表示されていない場合は、表示する列幅を広げてください。





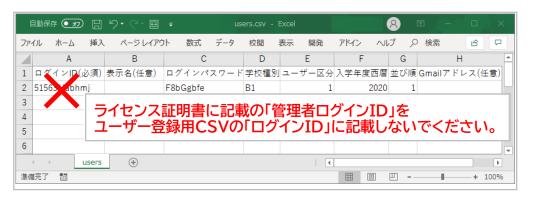
2 列幅が広がる。

#### 3. ライセンス証明書に記載されている「管理者ログインID」はユーザーに登録できません。

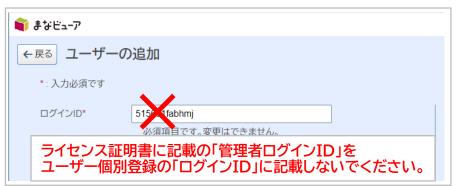
ライセンス証明書に記載されている「管理者ログインID」は、ユーザーの「ログインID」に使用できません。 ※大文字小文字違いのログインIDも使用出来ません。



#### ユーザー情報の一括登録(P.4~7)



#### ユーザー情報の個別登録(P.43、44)



#### 4. 登録済みのユーザーの「ログインID」と大文字小文字違いのユーザーは登録できません。

登録済みのユーザーの「ログインID」と大文字小文字違いのユーザーは登録できません。

登録済みのユーザーのログインID(例)



登録できないID(例)

上記のログインIDと比較して、大文字小文字違いの部分を赤字で記載

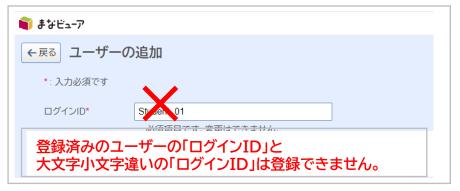
Student 01

STUDENT 01

ユーザー情報の一括登録(P.4~7)



ユーザー情報の個別登録(P.43、44)



#### 5. ユーザー区分を「先生」から「児童・生徒」に変更すると、教材ライセンスの割当が全て解除されます。

ユーザー区分を「先生」から「児童・生徒」に変更すると、教材ライセンスの割当が全て解除されます。 必要な教材ライセンスの割当を再度行ってください。

1 ユーザー情報の一括登録(P.4~7)
「ユーザー区分」を2→1に変更する。

編集

0

ユーザー情報の変更(P.45~47)

「ユーザー区分」を先生→児童・生徒に変更する。



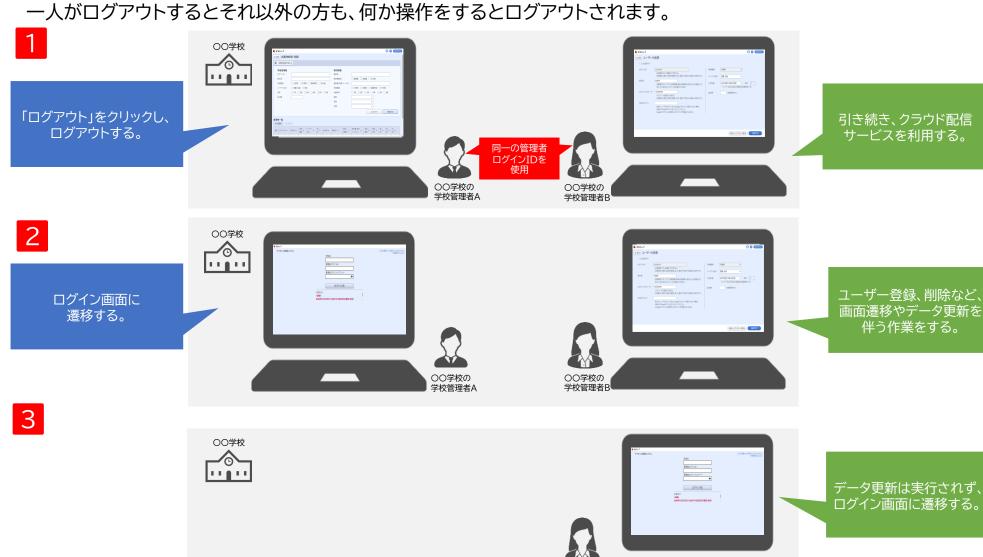
2 教材ライセンスの割当が全て解除されます。必要な教材ライセンスの割当を再度行ってください。

 $\blacksquare$ 



**6.** ライセンス管理システムを同一の管理者ログインIDで複数人でご利用の場合、一人がログアウトするとそれ以外の方も、何か操作をするとログアウトされます。

ライセンス管理システムを同一の管理者ログインIDで複数人でご利用の場合、 一人がログアウトするとそれ以外の方も、何か操作をするとログアウトされます。



○○学校の

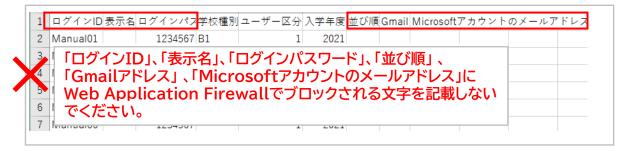
71

#### 7. Web Application Firewallでブロックされる文字を含むユーザーは登録できません。

「ログインID」、「表示名」、「ログインパスワード」、「並び順」、「Gmailアドレス」、「Microsoftアカウントのメールアドレス」に Web Application Firewallでブロックされる文字は使用できません。

Web Application Firewallでブロックされる文字(例) select, insert, update, delete, <script>, http://, https://, cmd

#### ユーザー情報の一括登録(P.4~7)



#### ユーザー情報の個別登録(P.43、44)

